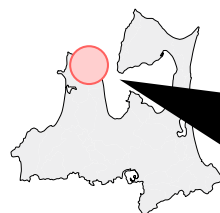


青森県の 市町村 情報

東津軽郡
今別町



概況：津軽半島北端の中央部に位置し、今別川流域と海岸線に11の集落が散在。青森県無形民俗文化財の指定を受けた「荒馬」があり、8月上旬の荒馬まつりの時期には県内外から200人以上の若者が町を訪れ、地元住民と一緒にまつりを盛り上げる。

名所：津軽国定公園高野崎、青函トンネル入口広場、道の駅いまべつ半島プラザアスカル、荒馬の里資料館



▲高野崎

奇岩、怪岩がいたるところに突き出している、迫力ある景勝地。晴れた日には、竜飛岬、下北半島、遠くは北海道を望める。

名産：今別牛、もずくうどん、一球入魂かぼちゃ

今別町 ミニデータ

平成28年3月26日に北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業。「日本一小さい新幹線の町」となる。

人口 2,751人
(男 1,318人、女 1,433人)
世帯数 1,461世帯
H30年1月末現在

今別町発★キラリ

各市町村で活躍するグループ・団体・企業等をご紹介します。今回は『今別町家庭教育支援チームTAZUNA』をご紹介します。チームの皆さんにお話を伺いました。



▲チームTAZUNAの皆さん。
写真右が代表の成田絵梨奈さん。

交流の場を提供し地域力を
強める

今別町家庭教育支援チームTAZUNAは、平成26年秋に県総合社会教育センター主催セミナーに参加した仲間が設立。今別町の荒馬のように、女性が手綱を取り、子育てを楽しみながら地域の絆づくりを行うことを目的に活動しています。メンバーは今別町の子育てを応援している6名。今別町中央公民館での月に一度の子育てサロン開催、公民館まつりへの参加、外部講師を招いて知育のための土曜学習など、子どもたちとその親、地域をつなげる役割を担っています。子育てサロンは先輩ママと交流したり、保育士・保健師への相談ができ、悩みを一人で抱え込まず息抜きができる場所です。町外から移り住んだ方々も、こうした居場所や受け皿があると安心して子育てができます。

子育てを終えた町の先輩方もチームTAZUNAの活動を見聞きすることで、「子どもに目を向ける機会が増え、世代間を超えた交流がますます絆を生み、いきいきした町づくりにもつながっていくきっかけになることを願い貢献していきます」と言います。また、今年度は東青地域男女共同参画ネットワーク活動で「パパの笑顔が地域を元気に」をテーマに講演会とワークショップを実施。講師自身の子育ての話やパパの子育てなどの情報交換、地域の現状や抱えている課題についても具体的に考えて話し合う機会となりました。

充実感を持って暮らすために
できることを

「子どもの世話を安心して夫に任せて、出かける機会が増えました」「夫婦の間で対等な立場で話をするようになりました」「家族は私が外に出て活動していることが嬉しいみたいです」と、チームTAZUNAの活動は家族の中でも良い変化をもたらしています。家族だけでなく地域の中でも子どもを通じてお互いの関係が深まり、子どもたちの将来に目を向けられる大人が増えれば、益々地域の絆が深まることでしょう。チームTAZUNAの活動を多くの方に知ってもらうために、今後もこれらの活動を継続していきます。

私が男女共同参画を 担当しています

今別町民福祉課
主事
本郷 沙希 さん



今年度、今別町は東青地域男女共同参画ネットワークの事務局となっています。去る11月、父親の子育て参画や地域参画の必要性、地域への関わり方などに関する男女共同参画の学習会を開催し、今別町では何ができるかを考える機会となりました。

今別町の男女共同参画の取り組みは、身近なところからスタートさせています。町役場若手職員によるプロジェクトでイベントを主催し盛り上げました。そのなかでも12月に行われた親子でものづくりを行うイベントでは、参加者にカレイドスコープの振り舞いがあり、男性職員は自ら志願してエプロンを締めて調理を担当しました。また、手先が器用だからと女性職員は仕事を率先して担うなど、性別ではなく得意不得意で役割を決めていました。参加した子どもたちへの男女共同参画のきっかけづくりにつながると実感しています。

町づくりでは、女性が参画して意見を反映させるためにも、審議会における女性登用率25%を目指します。

「チームTAZUNA」の皆さんには、転職や結婚で町外から移り住んだ方へお声がけいただき、友人づくりの場や子育ての相談など、安心できる居場所づくりを今後も続けていきたいです。

(取材：吉町 友美)